

定期巡回・随時対応サービス  
自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>								
<b>(1) 理念の明確化</b>								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				経営理念を事務所に掲示し、朝礼で唱和している。	スタッフの姿勢、仕事ぶりから拝察できる。
<b>(2) 適切な人材の育成</b>								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している			○		介護保険、地域密着サービスについて研修を計画し実施した。	・定期巡回サービスはまだ理解が不十分なため、外にも発信してもらえる機会があるといい。 スタッフの姿勢、仕事ぶりから拝察できる。
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している			○		職員の作成したモニタリングシートに対してフィードバックを行い、繰り返し学習する機会としている。	スタッフの姿勢、仕事ぶりから拝察できる。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			定期的に職員面談を行い、技術習得の確認をしてシフトを組んでいる。	スタッフの姿勢、仕事ぶりから拝察できる。
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			朝カンファレンス、月例の会議、看護主任打合せ等、で共有している。	介護職・看護職と情報が共有されていることは実感でき、安心できる。
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			在宅訪問の空き時間に施設業務を行う等工夫している。	利用者を一律化して考えず、人材配置を考慮してもらえるといい。 適正な人員配置と思う。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		年に2回開催している。職員体制等要望を実現できていない部分がある。	今の体制でできること、できないことを教えていただける機会があるといい。
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている			○		申し送りノートに職員チェック欄を付けて、見落としがないように工夫している。 (在宅・みらいふ)スマケアの一斉送信機能を活用し情報共有している。	利用者宅でノートに記入を実施してくれ、状況が共有できて助かっている。 情報を迅速に共有されたい。LINEも。職員だれもが情報共有しているのは家族はとても安心。
<b>(5) 安全管理の徹底</b>								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			BCP計画の作成あり。定期的な防災訓練を行っている。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			契約時個人情報の取り扱いに関する同意書をかかわっている。個人情報取り扱いに関する研修を年に1回行っている。	個人情報漏洩などのトラブルなし。 信頼できる。
<b>II 過程評価 (Process)</b>								
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>								
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			規則正しい食事時間と睡眠時間の確保ができるよう、施設の日課を決めている。	施設の日課ではなく、利用者一人一人の生活歴・生活リズムに着目してアセスメントを実施してほしい。 自己評価通り。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つぎ合わせ等が行われている		○			介護・看護がそれぞれのアセスメントを確認し、情報共有して方針を決める打ち合わせを設けている。	介護・看護と共有し実施されていると感じる。
利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者等の心身の機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			○		安全面を重視してしまい、回復というより維持が目標となっている計画が多い。	安全重視は仕方ないことなどは理解する。解決には家族、関係者全員が意識を変えることが大切なのかもしれない。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ご家族、関係者等と話し合いを重ね、生活や治療方針の意向等は細かく確認・共有するようにしている。	担当者会議などで共有しても、いつの間にか施設だけで話が進んでしまっていることがある。 左記の通り、何事も常に連絡いただき安心。
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			(在宅)本人・ご家族・ケアマネと連絡を取り、サービス提供時間変更は柔軟に対応している。	柔軟に実施してくれている。在宅は提供時間について連携があるが、施設内は連携がなく、どのようになっているか不透明。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			月に一回のモニタリングに毎日の報告事項を反映する仕組みを作っている。	月一回報告書をいただきモニタリング状況がわかりとてもいい。
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職・看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			カンファレンスで都度介護看護の役割分担をしている。	カンファレンスには必ず介護・看護が出席してくれており、専門性が活かされている。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			アセスメントシートを通じて助言を残している。カンファレンスで注意事項を伝えている。	医療面が大事なことは理解しているが、常に生活の場の中の看護師としての指導、助言であってほしい。
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>								

利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている					ケア内容変更時、その都度サービス計画作成責任者より説明している。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている					担当者会議や電話連絡で説明している。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている					今年度は重点的に報告連絡相談に取り組んだ。	報告、連絡があり、状況を把握することができている。 電話、ショートメッセージ、LINEで報連相を受け安心。
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>								
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている					ケアの変更や本人の希望があった際には、ケアマネと密に連絡を取っている。	サービス日時は事業所の都合もあり、できない、と言いつつも方法を一緒に考えてくれるのは心強い。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている					外出の計画支援等、柔軟に対応している。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている					会議を施設で開催してもらい、生活の場を見ながら情報提供をしている。	実施されている。
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)					介護タクシーの利用、訪問理容の紹介等行っている。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)					ケアマネに協力を得ながら連携をはかり、必要に応じてカンファレンスを開催してもらっている。	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					担当者会議、ケアマネ等に相談しながら、適宜行っている。	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>								
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている					HPIに掲載。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている					パンフレットを作成。相談者には説明に使用している。	定期巡回サービスとはどのようなサービスか理解できるように広報していただけるといい
<b>(2) まちづくりへの参画</b>								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している					計画の内容は、職場の会議等で取り扱い、共有している。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている					在宅の利用者にもサービス提供を継続している。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)					サービス利用相談を通じて、在宅生活のニーズを見つけ、介護保険制度を埋めるようなサービスの提案を社内で行っている。	
<b>III 結果評価 (Outcome)</b>								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている					在宅生活の継続、安心安全に療養生活を継続する等、達成できている。	安心安全が達成目標とすると、自立支援がどう考えるのか、と思う。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている					在宅の利用者より感謝の言葉を得ている。	ニーズに合わせて訪問回数を検討できるところは安心感となっている。